

2023年度
桐朋学園大学
大学院 音楽研究科 音楽専攻
修士課程

学生募集要項



Toho Gakuen Graduate School of Music
TOKYO

桐朋学園大学大学院 音楽研究科 音楽専攻

修士課程 学生募集要項

目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| 募集の趣旨 | 1 |
| アドミッション・ポリシー | 1 |
| 学生募集要項 | 1 |
| 1. 募集人員 | 1 |
| 2. 試験日 | 1 |
| 3. 試験会場 | 1 |
| 4. 出願資格 | 1 |
| 5. 出願書類 | 2 |
| 6. 出願書類記入上の諸注意 | 2 |
| 7. 出願手続 | 4 |
| 8. 入学試験実施日程、試験科目及び注意事項 | 4 |
| 9. 実技試験課題 | 6 |
| 10. 合格発表 及び 入学手続書類の送付 | 8 |
| 11. 入学の条件 | 9 |
| 12. 入学手続 | 9 |
| 13. 入学金・授業料等 | 9 |
| カリキュラムについて | 10 |
| カリキュラム・ポリシー | 10 |
| 学位及び資格 | 12 |
| 授業科目および単位 | 12 |
| 特待生および奨学金制度、学生会館について | 13 |
| 特待生制度 | 13 |
| 奨学金制度 | 13 |
| 学生会館 | 13 |
| 学生募集要項全般に関する問い合わせ先 | 13 |
| 交通機関案内図 | 14 |
| 出願書類帳票(志願票・受験曲目票・履歴書・研究計画書・受験証) | 15 |

個人情報の取扱について

出願にあたって記入していただいた、氏名・住所・その他の個人情報は、個人情報保護法に則り、万全の体制で管理いたします。

アドミッション・ポリシー

本学大学院修士課程が定める「アドミッション・ポリシー」は以下の通りである。

大学院修士課程は、高度に専門的かつ広汎な視野に立ち、音楽についての学識と技術をもった音楽の実践や教育を行う人材の養成を目的としている。この教育理念に基づき、音楽に関する見識、技術を有し、なおかつ幅広い視野から知的な関心や柔軟な感性を育むことのできる人材を求めている。

学生募集要項

1. 募集人員

| 専攻 | コース | 募集人員 |
|----|-----------------------------|------|
| 音楽 | ピアノ | 45名 |
| | 弦楽器(ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス) | |
| | 声楽 | |
| | 作曲 | |
| | 音楽学 | |

※ 標準修業年限は2年(4年まで在籍可)。

※ ピアノコースは「ソロ」「歌曲伴奏」「コレペティツィオン」のいずれかを、声楽コースは「オペラ」「歌曲」のどちらを中心に学ぶかを選択。

2. 試験日

2022年11月5日(土)・6日(日)

3. 試験会場

桐朋学園大学 調布キャンパス 1号館 (調布市調布ヶ丘1-10-1)

4. 出願資格

出願できる者は、次の各項の一つに該当する者とする。

1. 学校教育法 第83条に規定する大学を卒業した者、又は2023年3月末日までに大学を卒業見込みの者。
2. 学校教育法 第104条 第7項の規定により、学士の学位を授与された者、又は2023年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者。
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2023年3月末日までに修了見込みの者。

4. 文部科学大臣の指定した者。
5. 2023年3月末日で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学が所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者。
6. 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本学入学前(2023年4月1日)までに22歳に達する者。

◎注 出願資格5. 6. によって出願する場合は、事前に入学資格認定審査を行うので、2022年9月23日(金) 午後4時30分までに、本学事務局入試係まで問い合わせること。(P. 13 参照)

5. 出願書類

出願書類一式：

- 1) 志願票
- 2) 受験曲目票(作曲、音楽学コースの者は提出不要)
- 3) 作曲作品(任意の2作品の楽譜)(作曲コースのみ提出)
- 4) 研究計画書
- 5) 出身大学発行の成績証明書(本学学部を卒業した者・卒業見込の者は提出不要)
- 6) 出身大学発行の卒業(又は卒業見込)証明書(本学学部を卒業した者・卒業見込の者は提出不要)
- 7) 履歴書
- 8) 受験証
- 9) 振込証憑書類(ATMのご利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したものの等入学検定料を振り込みしたことが分かる書類)

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出すること。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とする。

※以下の項目に該当する場合、事前に本学に連絡すること。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合(2022年10月1日(土)まで)
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合

6. 出願書類記入上の諸注意

- ・提出する書類への記入は楷書とすること。
記載にあたっては、書式に記されている注意事項等を順守すること。

| 志願票 | |
|------------|--|
| 楽器略語・コード | 「楽器略語・コード」表に従って記入する。 |
| 氏名 | 戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。 |
| 生年月日 | 西暦で年月日を記入する。 <u>2023年4月1日現在の年齢</u> をあわせて記入する。 |
| 性別 | 男、女 を○で囲む。 |
| 本人連絡先等 | 入学手続書類等の送付先にもなるので、郵便番号、住所、電話番号等を正確に記入する。 自宅TEL・携帯TEL・FAX の環境がない場合は「なし」と記入する。 メールアドレスは「@tohomusic.ac.jp」からのEメールを受信できるアドレスを記入する。 |
| 出願資格(出身大学) | 出身大学の学校区分、名称、専攻、卒業(卒業見込)年月について記入する。 出願資格4. 5. 6. により出願する者は記入不要。 |
| 受験希望外国語 | 英語・独語・仏語・伊語の中から1カ国語を選択し、○で囲む。 ただし、音楽学コース志願者は、伊語を選択出来ない。 <u>試験当日にこれを変更することはできない。</u> |
| 実技担当希望教員 | 本学において決定するが、希望がある場合は希望教師名を記入する。 ただし、希望通りにならない場合がある。 |
| 写真 | タテ4cm×ヨコ3cmの大ききで3ヶ月以内に撮影した無帽で背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「受験証」にも同じ写真を貼ること。 |

| 受験曲目票 | | | | | | | | | |
|-------------|--|-------|--------------------------|---------|--|---------|--|---------|--|
| 氏名・楽器略語・コード | 志願票と同様に記入する。 | | | | | | | | |
| コース選択 | 実技試験課題を参照。ピアノと声楽は研究内容により、異なる試験課題を選択する。ピアノは(1)・(2)・(3)のいずれか、声楽は「オペラ」・「歌曲」のいずれかを○で囲む。 | | | | | | | | |
| 曲目の記入方法 | <p>課題記号・番号を()内に記入し、演奏曲目を具体的・詳細に記入する。 <u>出願後の受験曲目等の変更は認めない。</u> (記入例)ピアノコースで<歌曲伴奏>を選択する場合の記入例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 2px;">コース選択</td> <td style="padding: 2px;">ピアノ：(1)・(2)・(3)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">課題記号・番号</td> <td style="padding: 2px;">(a) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">課題記号・番号</td> <td style="padding: 2px;">(a) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cäcilie Op.27-2</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">課題記号・番号</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> </table> <p>※<歌曲伴奏>の課題(a)に関して、受験曲目票には演奏順に記入すること。</p> | コース選択 | ピアノ：(1)・ (2) ・(3) | 課題記号・番号 | (a) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72) | 課題記号・番号 | (a) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cäcilie Op.27-2 | 課題記号・番号 | |
| コース選択 | ピアノ：(1)・ (2) ・(3) | | | | | | | | |
| 課題記号・番号 | (a) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72) | | | | | | | | |
| 課題記号・番号 | (a) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cäcilie Op.27-2 | | | | | | | | |
| 課題記号・番号 | | | | | | | | | |
| 伴奏者・共演者氏名 | 受験曲に伴奏者・共演者が必要な場合は、伴奏者・共演者の氏名を記入する。 | | | | | | | | |

| 研究計画書 | |
|-------------|----------------------|
| 氏名・楽器略語・コード | 志願票と同様に記入する。 |
| 研究テーマ 等 | 入学後の研究テーマ等を具体的に記入する。 |

| 履歴書 | |
|-------------|---|
| 氏名・楽器略語・コード | 志願票と同様に記入する。 |
| 学歴 | 高等学校から最終出身学校まで記入する。 |
| 職歴 | 職歴がある場合は記入する。ない場合は空欄でよい。 |
| 音楽歴 | これまでに師事した指導者やコンクール入賞歴等を簡潔に記入する。欄が不足する場合は裏面を使用しても良い。 |

| 受験証 | |
|------|---|
| 楽器略語 | 「楽器略語・コード」表に従って記入する。 |
| 氏名 | 戸籍名を楷書で記入する。フリガナをふる。 |
| 写真 | タテ4cm×ヨコ3cmの大きさに3ヶ月以内に撮影した無帽で背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「志願票」にも同じ写真を貼ること。 |

7. 出願手続

◆「出願書類一式」の提出：

前記5.1)～9)を「レターパック」に封入し、以下の期日までに下記の宛先へ郵送のこと。

※出願書類がレターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。

受付期間：2022年10月15日(土)～10月19日(水) 期間内必着(郵送に限る)

[宛先] 〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 桐朋学園大学 事務局入試係

◆入学検定料の納入：

出願書類の提出に先立って出願者は検定料(30,000円)を下記の本学指定の銀行口座へ振込むこと。

◎注 受験を取消した場合、入学検定料は返還しない。

[振込先]

- ・みずほ銀行調布支店 当座 No.9778
- ・三菱UFJ銀行仙川支店 当座 No.49612
- ・三井住友銀行国領支店 当座 No.1015159

[振込先口座名義]

学校法人桐朋学園音楽科【(ガク)トウホウガクエンオンガクカ】

◎注 銀行振込みの際は、振込人名義を必ず「受験生名」とし、名前の前に「2023」と加えること

(例：2023 トウホウタロウ)。

8. 入学試験実施日程、試験科目及び注意事項

1) 選抜方法

次の試験科目の試験結果、および出身大学の成績を総合的に判断して選抜する。

2) 試験実施日程及び試験科目

◇ピアノ、弦楽器、声楽コース

| 2022年11月5日(土) | 2022年11月6日(日) |
|---------------|--------------------------|
| 実技試験 | 外国語試験 (90分間) 9:30～11:00 |
| 口述試験 | 音楽史試験 (90分間) 11:45～13:15 |

| 試験科目 | 概要等 |
|----------|---|
| 1. 実技試験 | 試験課題は「9. 実技試験課題」(P.6 以降を参照。) <u>伴奏者・共演者が必要な場合は、各自で同伴すること。</u> |
| 2. 口述試験 | 出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行う。 |
| 3. 音楽史試験 | 西洋音楽史 |
| 4. 外国語試験 | 英語・独語・仏語・伊語から1カ国語を選択。 語学辞書の持ち込み可。 ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の持ち込みは不可。 |

◇作曲コース

| 2022年11月5日(土) | 2022年11月6日(日) |
|---------------|---|
| 口述試験 13:00～ | 外国語試験 (90分間) 9:30～11:00 音楽史試験 (90分間) 11:45～13:15 |

| 試験科目 | 概要等 |
|----------|---|
| 1. 口述試験 | 提出された作曲作品及び出願書類「研究計画書」に基づく口頭試問を行う。 |
| 2. 音楽史試験 | 西洋音楽史 |
| 3. 外国語試験 | 英語・独語・仏語・伊語から1カ国語を選択。 語学辞書の持ち込み可。 ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の持ち込みは不可。 |

◇音楽学コース

| 2022年11月5日(土) | 2022年11月6日(日) |
|---------------------------------------|---|
| 小論文試験(90分間)10:00～11:30 口述試験 13:00～ | 外国語試験 (90分間) 9:30～11:00 音楽史試験 (90分間) 11:45～13:15 |

| 試験科目 | 概要等 |
|----------|--|
| 1. 小論文 | 専門に関わる小論文 |
| 2. 口述試験 | 小論文及び出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行う。 |
| 3. 音楽史試験 | 西洋音楽史 |
| 4. 外国語試験 | 英語・独語・仏語から1カ国語を選択。 語学辞書の持ち込み可。 ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の持ち込みは不可。 |

※ 志願票は、各コース共通のため「伊語」の記載があるが、音楽学コース志願者は選択出来ない。

11月5日(土)の実技試験・口述試験等の集合時間は、本学から事前に郵送で通知する。

ただし、実施日の3日前までに連絡のない場合は、本学まで問い合わせること。

※詳細は、出願者に交付する「受験心得」で確認すること。

9. 実技試験課題

◇ピアノコース

次の(1)(2)(3)のいずれかを選択し、その課題を演奏すること。

ピアノ独奏曲を主に研究する者は(1)を、歌曲伴奏を主に研究する者は(2)を、コレペティツィオンを主に研究する者は(3)を、選択すること。

(1) <ソロ分野>

次の(a),(b),(c)を演奏すること。全体で30分程度とする。

(a) バロックから古典派の作品

(b) ロマン派以降の作品

(c) F.Chopin, F.Liszt, C.Debussy, S.Rachmaninoff, A.Scriabin, B.Bartók, S.Prokofieff, G.Ligeti
の練習曲より1曲

*暗譜で演奏すること。

*ピアノ独奏用作品に限る。

*出版されているものに限る。

*内部奏法等を含んだ作品は除く。

* (a), (b) とも、7分以上とする。複数の曲でも可。

* ソナタの楽章の抜粋や、組曲からの抜粋は可。

* 変奏曲の抜粋は不可。

* 繰り返しは自由。

* 時間の都合により、一部省略させることがある。

(2) <歌曲伴奏分野>

次の(a), (b)を演奏すること。

(a) 下記の歌曲(I)、(II)から選択して15分程度のプログラムを共演者と演奏すること。

(I)、(II)それぞれから必ず1曲以上含むこと。

(I)

F.Schubert : Frühlingsglaube 春の信仰 D686 (Op.20-2)

Der Musensohn ミューズの子 D764 (Op.92-1)

Auf dem Wasser zu singen 水の上で歌う D774 (Op.72)

R.Schumann : Der Nussbaum くるみの木 Op.25-3

Mondnacht 月夜 Op.39-5

Liebeslied 愛の歌 Op.51-5

J.Brahms : Meine Liebe ist grün 私の恋は緑にもえ Op.63-5

Wir wandelten 私たちはそぞろ歩いた Op.96-2

Botschaft ことづて Op.47-1

R.Strauss : Ständchen セレナード Op.17-2

Heimliche Aufforderung ひそやかな誘い Op.27-3

Schlagende Herzen 高鳴る胸 Op.29-2

C.Debussy : Mandoline マンドリン

Green 水彩画 1: グリーン

(II)

- F.Schubert : Rastlose Liebe 憩いなき恋 D138 (Op.5-1)
R.Schumann : Aufträge ことづて Op.77-5
J.Brahms : Bei dir sind meine Gedanken 私の想いはあなたのもとへ Op.95-2
R.Strauss : Cäcilie ツェツィーリエ Op.27-2
中田 喜直 : サルビア
團 伊玖磨 : 紫陽花

(b) F.Chopin : Etudes Op.10、 Op.25 より任意の1曲 (ただし Op.10-6 と Op.25-7 は除く)

※(b)は暗譜で演奏すること。

※時間の都合により、一部省略させることがある。

(3) <コレペティツィオン分野>

次の(a), (b), (c) を演奏すること

- (a) W.A.Mozart : 任意の Piano Sonata より 第1楽章(繰り返しは省略すること)
(b) G.Puccini : La Bohème より 第2幕冒頭から 練習番号8まで(Ricordi 版)
(c) R.Strauss : Der Rosenkavalier 第1幕冒頭から練習番号28番まで (Fuerstner 版)

※(a)は暗譜で演奏すること。

※(b), (c) はオーケストラパート(ヴォーカルスコアのピアノパートで構わない)を演奏すること。

※時間の都合により、一部省略させることがある。

※譜めくりの同伴は認めないので、1人で演奏可能なように準備すること。

◇弦楽器コース

<ヴァイオリン>

以下の(1), (2) を暗譜で演奏する。(2)の伴奏者は、各自で同伴すること。

- (1) J.S.Bach : 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ(BWV 1001, 1003, 1005)より任意の1曲
第1楽章と第2楽章
(2) 任意のヴァイオリン協奏曲1曲より第1楽章(カデンツァがあるものはそれを含む。)

<ヴィオラ>

以下の(1), (2) を暗譜で演奏する。(2)の伴奏者は、各自で同伴すること。

- (1) J.S. Bach : 無伴奏パルティータ(BWV 1002, 1004, 1006)、無伴奏ソナタ(BWV 1001, 1003, 1005)、チェロ組曲(BWV 1007-1012)より任意の1曲。いずれも緩急2つの楽章。
(2) 以下の協奏曲より任意の1曲

- F.A.Hoffmeister : D-dur 第1楽章(カデンツァ付き)
C.Stamitz : D-dur op.1 第1楽章(カデンツァ付き)
B.Bartók : 第1楽章 または 最終楽章
P.Hindemith : 白鳥を焼く男(Der Schwanendreher)第1楽章 または 最終楽章
W.Walton : 第1楽章 または 最終楽章

<チェロ>

以下の(1), (2), (3) を暗譜で演奏する。(2)(3)の伴奏者は、各自で同伴すること。

- (1) J.S.Bach : 無伴奏チェロ組曲 (BWV 1007-1012) より任意の1曲
いずれもプレリュード、サラバンド、ジークとする。
- (2) J.Haydn : チェロ協奏曲 第2番 D-dur より 第1楽章(カデンツァ付き)
- (3) 自由曲 (ただし演奏時間は10分以内とする)

<コントラバス>

以下の協奏曲から任意の1曲(全楽章)を暗譜で演奏する。伴奏者は、各自で同伴すること。

- K.D.Dittersdorf : No.2 E-dur Kr.172 (H.Gruber Cadenzas)
J.B.Vanhal : D-dur (H.Gruber Cadenzas)
D.Dragonetti : A-dur
G.Bottesini : No.2 b-moll
S.Koussevitzky : fis-moll

◇声乐コース

暗譜で演奏する。伴奏者は、各自で同伴すること。

以下の(1)と(2)を提出し、(1)の2曲、(2)の中から当日指定された2曲を演奏する。

- (1) アリア(オラトリオ、コンサート・アリアを含む)1曲と歌曲1曲、計2曲。
- (2) アリア(オラトリオ、コンサート・アリアを含む)2曲と歌曲2曲、計4曲。
(提出曲(2)について、オペラ研究分野志望者はアリアのみ4曲、歌曲研究分野志望者は歌曲のみ4曲でもよい)

- *提出曲6曲は、2ヶ国語以上の作品とする。
- *アリアは原調・原語。ただし、慣習的に認められている移調、言語に関してはこの限りではない。
- *歌曲は原語で、移調可。
- *曲名は原語で記入すること。
- *前奏・間奏・後奏は省略可。
- *各曲の演奏時間を「受験曲目票」に記入すること。

10. 合格発表 及び 入学手続書類の送付

1) 発表日

2022年11月9日(水) 午前11時予定

2) 発表方法

合格者の「受付番号」を本学ホームページで発表する。

3) 書類の交付

合格者には、入学手続書類(合格者心得)を同日に速達で送付する。

11. 入学の条件

- 1) 指定の期日までに所定の入学手続きを完了していること。
- 2) 出願時に「2023年3月卒業見込み」であった者は、卒業を認定されていること。
なお、本学以外からの受験者は、2023年3月末日までに、卒業証書のコピーを本学に郵送すること。修了見込みの者も同様とする。
- 3) 願書提出時に学位授与機構に学士の学位を申請していた者は、学位を授与されていること。
なお、この場合は、2023年3月末日までに、学位記のコピーを本学に郵送すること。

12. 入学手続

- 1) 入学手続の方法：書類の提出は郵送のみとする。
- 2) 入学手続の期限：**2022年11月14日(月)～11月25日(金)必着**
- 3) 提出書類等(予定)：
 1. 「入学手続納付金払込用紙」の副票
 2. 誓約書(本学が指定する用紙)
 3. 身元保証書(本学が指定する用紙)
 4. 学籍台帳(本学が指定する用紙)
 5. 写真(タテ4cm×ヨコ3cm)
 6. 住民票(本人のみ記載のもの、マイナンバーは不要)または住民票記載事項証明書1通

13. 入学金・授業料等

| 内容 | 金額 | 備考 |
|----------|-----------------------|-------------------------------------|
| 1. 入学金 | 350,000円 *150,000円 | 入学時のみ *印は桐朋学園大学を卒業した者及び卒業見込の者の金額 |
| 2. 授業料 | 1,200,000円 | 年額、半期ごとに半額納入する |
| 3. 施設設備費 | 150,000円 | 年額、半期ごとに半額納入する |
| 4. 運営維持費 | 100,000円 | 年額、半期ごとに半額納入する |

(注)入学手続時には、1. の全額及び2. 3. 4. の半額を納入する。

【合計 1,075,000 円 (本学卒業生は 875,000 円)】

カリキュラムについて

カリキュラム・ポリシー

修士課程は音楽専攻のもとに、ピアノ、弦楽器、声楽、作曲、音楽学の5コースで構成され、専攻としてのカリキュラム・ポリシーは以下の通りである。

大学院音楽研究科は、音楽実践に不可欠な高度な能力を習得し、自立した音楽活動を行うにあたって必要な能力を養うことを目的とする。その目的のために、各コースの特質に適した、以下の教育課程を編成している。

修士課程は2年以上の在学期間に、コースごとに開設される実技あるいは実習・演習等を履修し、また、学術的研究を支える関連科目を所定の範囲で履修しなければならない。学位審査は、修士論文に加えて修了演奏または修了作品の審査によって行われ、合格者は修士(音楽)の学位を授与される。(音楽学を除くコースでは、研究レポートをもって修士論文に代えることができる。)

また、各コースは、上記ポリシーを実現するために独自のカリキュラム・ポリシーを定めている。

◇ピアノコース

学士教育をさらに発展させながら、高度な技術と豊かな芸術性を持ったピアニストを育成する。個人レッスンやアンサンブルにおけるグループごとの個別レッスンも多く用意し、総合演習などの授業とあわせて、芸術的感性と論理的な知性を深め、専門性の高い音楽家への道を導く。

目標を完全なものとするために、ピアノコースでは、1年次における中間発表、2年次における修了演奏で舞台での実践を踏み、その研究成果を問うこととしている。

◇弦楽器コース

学士教育をさらに発展させながら、より高度なレベルで演奏家としての能力を向上させる。そのために必要な実践的、理論的な専門性を持った研究を展開する。個人レッスンやアンサンブルにおけるグループごとの個別レッスン等も用意し、総合演習などの授業とあわせて、芸術的感性と論理的な知性を深め、専門性の高い音楽家への道を導く。

目標を完全なものとするために、弦楽器コースでは、1年次における中間発表、2年次における修了演奏で舞台での実践を踏み、その研究成果を問うこととしている。

◇声楽コース

学士教育をさらに発展させながら、オペラ研究分野、歌曲研究分野を置き、高度な専門性を有した研究を実施するとともに、豊かな芸術性を育む。各自の研究分野について豊かな演奏実践を経験させるとともに、総合演習などの授業とあわせて、芸術的感性と論理的な知性を深め、専門性の高い音楽家への道を導く。

目標を完全なものとするために、声楽コースでは、オペラ研究分野は1年次にオペラ抜粋の試演会、2年次にはオペラ試演会のほか修了演奏があり、歌曲研究分野は1年次に歌曲等の中間発表、2年次は修了演奏で舞台での実践を踏み、その研究成果を問うこととしている。

◇作曲コース

学士教育をさらに発展させながら、高度な作曲法の体得と現代を含む作曲家の作品の緻密な分析を展開し創作を発展に導く。作品発表も積極的に行い実践においても更なる向上を目指す。

目標を完全なものとするために、作曲コースでは、1年次における作品提出、2年次における修了作品の提出により、その研究成果を問うこととしている。

◇音楽学コース

学士教育をさらに発展させながら、現代にふさわしい多面的な視点と精緻な実証性を備えた研究を展開する。国際的な成果の達成に向けて、外国語及び日本語文献の精読を徹底するとともに、豊富な発表機会を設け、音楽大学ならではの芸術的感性と学者としての高度な論理性を両立させた専門性の高い音楽学者の道へと導く。

目標を完全なものとするために、音楽学コースでは、1年次、2年次ともに中間発表を行い、最終的な成果である修士論文作成を行う。

学位及び資格

授業科目および単位

◎ 修了要件及び履修方法等

- ・ 修士課程に2年間以上在籍し、教育課程表に定める専門科目の必修10単位、関連科目の総合演習8科目から毎学期1科目ずつ合計4科目8単位を選択必修、その他の専門科目・関連科目の中から12単位以上、合計30単位以上修得し、修士論文(音楽学を除くコースでは、研究レポートをもって修士論文に代えることができる。)の審査及び試験に合格するとともに、コースにより、修士論文に加えて修了演奏または修了作品の審査に合格すること。
- ・ 高等学校教諭一種免許状(音楽)及び中学校教諭一種免許状(音楽)取得者で、教科に関する専門科目を24単位以上修得し、修了した者(修了見込者を含む)に限り、修了時に高等学校教諭専修免許状(音楽)及び中学校教諭専修免許状(音楽)取得の申請ができる。

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | |
|------------------|-------------|----------|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 |
| 専 門 科 目 | 領域実技①(a) | 1前 | 2 | |
| | 領域実技①(b) | 1後 | 2 | |
| | 領域実技②(a) | 2前 | 2 | |
| | 領域実技②(b) | 2後 | 2 | |
| | 修了研究B・C(a) | 2前 | 1 | |
| | 修了研究B・C(b) | 2後 | 1 | |
| | 声楽特殊研究A①(a) | 1前 | | 1 |
| | 声楽特殊研究A①(b) | 1後 | | 1 |
| | 声楽特殊研究A②(a) | 2前 | | 1 |
| | 声楽特殊研究A②(b) | 2後 | | 1 |
| | 声楽特殊研究B①(a) | 1前 | | 1 |
| | 声楽特殊研究B①(b) | 1後 | | 1 |
| | 声楽特殊研究B②(a) | 2前 | | 1 |
| | 声楽特殊研究B②(b) | 2後 | | 1 |
| | 声楽特殊研究C①(a) | 1前 | | 1 |
| | 声楽特殊研究C①(b) | 1後 | | 1 |
| | 声楽特殊研究C②(a) | 2前 | | 1 |
| | 声楽特殊研究C②(b) | 2後 | | 1 |
| | 歌曲演習I(a)※ | 1・2前 | | 2 |
| | 歌曲演習I(b)※ | 1・2後 | | 2 |
| | 歌曲演習II※ | 1・2前 | | 2 |
| | 歌曲演習III※ | 1・2後 | | 2 |
| | 台本研究 | 1・2後 | | 2 |
| | 器楽特殊研究A①(a) | 1前 | | 1 |
| | 器楽特殊研究A①(b) | 1後 | | 1 |
| | 器楽特殊研究A②(a) | 2前 | | 1 |
| | 器楽特殊研究A②(b) | 2後 | | 1 |
| | 器楽特殊研究B①(a) | 1前 | | 1 |
| | 器楽特殊研究B①(b) | 1後 | | 1 |
| | 器楽特殊研究B②(a) | 2前 | | 1 |
| | 器楽特殊研究B②(b) | 2後 | | 1 |
| | 器楽特殊研究C①(a) | 1前 | | 1 |
| | 器楽特殊研究C①(b) | 1後 | | 1 |
| | 器楽特殊研究C②(a) | 2前 | | 1 |
| 器楽特殊研究C②(b) | 2後 | | 1 | |
| 歌曲伴奏研究①(a) | 1前 | | 1 | |
| 歌曲伴奏研究①(b) | 1後 | | 1 | |
| 歌曲伴奏研究②(a) | 2前 | | 1 | |
| 歌曲伴奏研究②(b) | 2後 | | 1 | |

| 科目 区分 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | |
|------------------|--------------|----------|-----|----|
| | | | 必修 | 区分 |
| 専 門 科 目 | 創作演習A(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 創作演習A(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 創作演習B(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 創作演習B(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 創作演習C(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 創作演習C(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 創作演習D(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 創作演習D(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 音楽学特別研究①(a) | 1前 | | 2 |
| | 音楽学特別研究①(b) | 1後 | | 2 |
| | 音楽学特別研究②(a) | 2前 | | 2 |
| | 音楽学特別研究②(b) | 2後 | | 2 |
| | 音楽学特別研究A①(a) | 1前 | | 2 |
| | 音楽学特別研究A①(b) | 1後 | | 2 |
| | 音楽学特別研究A②(a) | 2前 | | 2 |
| | 音楽学特別研究A②(b) | 2後 | | 2 |
| | 音楽学特別研究B①(a) | 1前 | | 2 |
| | 音楽学特別研究B①(b) | 1後 | | 2 |
| | 音楽学特別研究B②(a) | 2前 | | 2 |
| | 音楽学特別研究B②(b) | 2後 | | 2 |
| 関 連 科 目 | 総合演習A(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 総合演習A(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 総合演習B(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 総合演習B(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 総合演習C(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 総合演習C(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 総合演習D(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 総合演習D(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 論文演習A・B・C(a) | 2前 | | 1 |
| | 論文演習A・B・C(b) | 2後 | | 1 |
| | 作品分析特講A(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 作品分析特講A(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 作品分析特講B | 1・2後 | | 2 |
| | 作品分析特講C(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 作品分析特講C(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 作品分析特講D(a) | 1・2前 | | 2 |
| 作品分析特講D(b) | 1・2後 | | 2 | |
| 作品分析特講E(a) | 1・2前 | | 2 | |
| 作品分析特講E(b) | 1・2後 | | 2 | |

| 科目 年次 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | |
|------------------|---------------|----------|-----|----|
| | | | 必修 | 区分 |
| 関 連 科 目 | 作品分析特講F(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 作品分析特講F(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 作品分析特講G(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 作品分析特講G(b) | 1・2後 | | 2 |
| | エディション研究特講(a) | 1・2前 | | 2 |
| | エディション研究特講(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 原書講読(独)(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 原書講読(独)(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 原書講読(仏)(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 原書講読(仏)(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 原書講読(英)(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 原書講読(英)(b) | 1・2後 | | 2 |
| | 音楽文献研究(a) | 1・2前 | | 2 |
| | 音楽文献研究(b) | 1・2後 | | 2 |

指導教員等については、以下(本学ホームページ)をご確認ください。

<https://www.tohomusic.ac.jp/college/faculty/master.html>

特待生および奨学金制度、学生会館について

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専攻実技等の成績が極めて優秀であると認められた学生は、「特待生」として入学金・授業料・運営維持費などを一部または全額免除する。

奨学金制度

経済的な理由により就学が困難な者を対象に、奨学金制度を設けている。

◎ 桐朋学園音楽部門奨学金

向学心をもちつつも、経済的理由で就学が困難な学生を対象とする。

1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回(9月末)給付する。原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠しつつ、実状を考慮し決定する。

◎ 宗次徳二桐朋学園大学大学院特待奨学金

入学試験の成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付することをもって、次世代の音楽界を担うことが期待される大学院生の教育を支援することを目的としている。

対象者：修士課程1名、博士後期課程1名

給付額：年間120万円(入学から修了〔標準修了年限〕までとする)

◎ 桐朋学園音楽部門留学支援奨学金「江崎スカラシップ」

次世代の音楽界を担うことが期待される桐朋学園大学大学院、桐朋学園大学、同大学ディプロマ・コース、桐朋学園大学院大学のピアノを専攻する学生に留学支援することを目的としている。

支給人数：原則2名まで

給付額：1人500万円(ただし、1回限り)

◎ 桐朋学園音楽部門 佐々木成子賞 奨学金(声楽専攻・声楽コース対象)

音楽学部声楽専攻生のうち、年間を通じて優秀な成績を修めた者に対し奨学金が給付される。

学生会館

自宅通学が困難な女子学生のために、調布キャンパスより徒歩約5分の場所に学生会館を用意している。<問い合わせ：学生支援チーム>

| | |
|------|---------------------------------------|
| タイプ | 防音ワンルーム型マンション |
| 住戸面積 | 約21㎡(1住戸当り) |
| 仕様 | ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備 |
| 住戸数 | 115戸 |
| 入居費 | 月額78,000円 |
| その他 | 入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。 |

学生募集要項全般に関する問い合わせ先

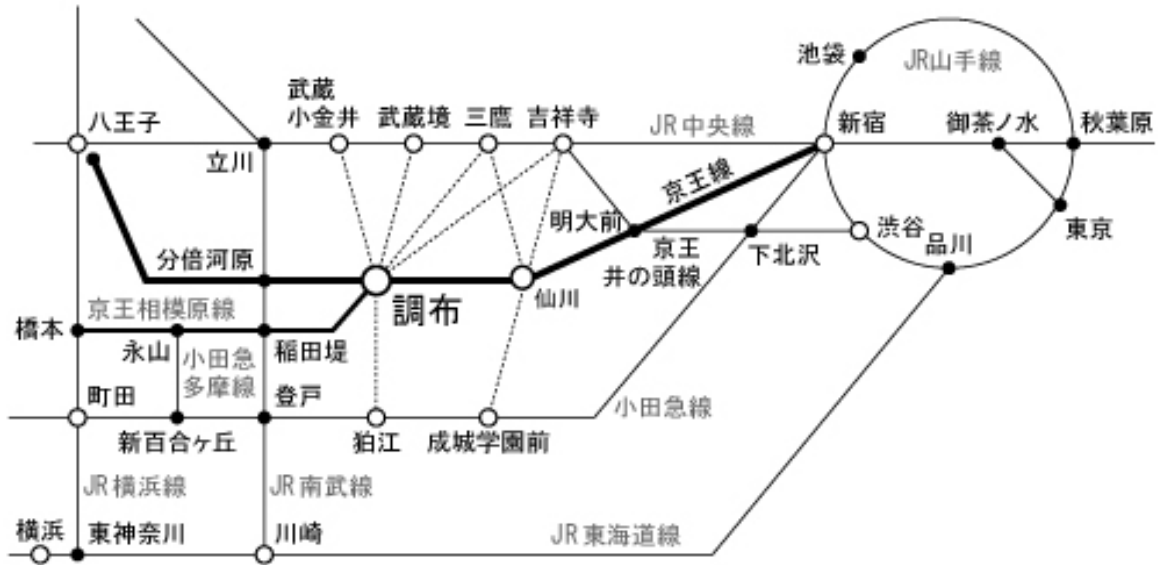
桐朋学園大学 事務局 入試係

Tel : 03-3307-4122 E-mail : exam@tohomusic.ac.jp

問い合わせ時間(日・祝祭日は除く)：月～土：午前8時30分～午後4時30分

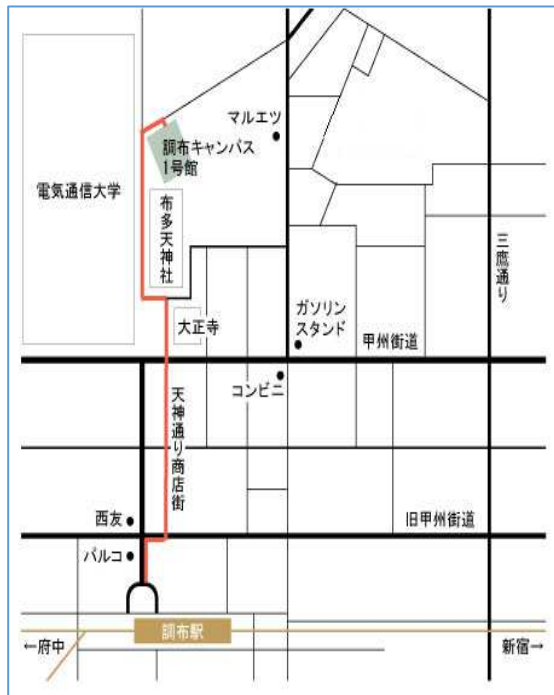
交通機関案内図

京王線調布駅〔新宿から特急で約16分〕



◆調布キャンパス 1号館 京王線 調布駅より徒歩10分

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1 TEL : 042-444-7055



京王線以外からのルート

●小田急線「狛江」駅発 (バスの所要時間約 20 分)

小田急バス 「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き
 「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車
 徒歩 10~12 分

●JR 中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、「武蔵小金井」駅発

(バスの所要時間約 30~40 分)
 小田急バス 「調布駅北口」行き (吉祥寺、三鷹、武蔵境)
 京王バス 「調布駅北口」行き (武蔵小金井)
 「調布駅北口」バス停下車 徒歩 10 分

2023年度

桐朋学園大学大学院音楽研究科(修士課程)

志願票

| 楽器略語 | コード | 受付番号 |
|------|-----|------|
| | | ※ |

※ 受付番号は記入不要

楽器略語・コード

| コース | | 楽器略語 | コード |
|-----|---------|-------|-----|
| ピアノ | ソロ | P f | 0 1 |
| | 歌曲伴奏 | P f 2 | 0 2 |
| | コレアティオン | P f 3 | 0 3 |
| 弦楽器 | ヴァイオリン | V l | 1 1 |
| | ヴァイオラ | V a | 1 2 |
| | チェロ | V c | 1 3 |
| | コントラバス | C b | 1 4 |
| 声楽 | オペラ | O p | 7 3 |
| | 歌曲 | L i | 7 4 |
| 作曲 | | C o | 8 1 |
| 音楽学 | | M u | 9 1 |

| | | | |
|----|----------------------|-----------|----------------|
| 氏名 | フリガナ | 生年月日 (西暦) | 年 月 日 |
| | 漢字等記入(戸籍名を楷書で記入すること) | | 2023年4月1日現在の年齢 |
| | | 性別 | 男 ・ 女 歳 |

| | | |
|--------|----------|----------------|
| 本人連絡先等 | 〒 住所 | |
| | 自宅TEL | 携帯TEL |
| | FAX | メールアドレス(必須) |
| | 保証人 (氏名) | (TEL) (本人との関係) |

出願資格(出身大学)

※出願資格 4. 5. 6. により出願する者は記入不要

| | |
|---------|---|
| 学校区分 | 1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 外国の学校 5. その他() |
| 大学名 | 大学 学部 学科 専攻 |
| 卒業(見込)年 | (西暦) 年 月 卒業 ・ 卒業見込 (○をつける) |

| | |
|--------------|--|
| 受験希望 外国語 | 1. 英語 2. 独語 3. 仏語 4. 伊語 (選択する外国語に○をつける) ※音楽学コース志願者は伊語の選択は不可 |
| 実技担当 希望教員 | 第1希望: |
| | 第2希望: |

写真貼付欄

上半身無帽
カラーまたは白黒
写真裏面氏名記入
タテ 4cm×ヨコ
3cm

記載した内容は入学試験以外の目的では使用しません。

2023年度

桐朋学園大学大学院音楽研究科(修士課程) 受験曲目票

| | | |
|----|-------|--|
| 氏名 | フリガナ | |
| | 漢字等記入 | |

| 楽器略語 | コード | 受付番号 |
|------|-----|------|
| | | ※ |

※受付番号は記入不要

※楽器略語・コードは志願票を参照

| コース選択 | ピアノ：(1)・(2)・(3) | 声楽：オペラ・歌曲 |
|----------------|-----------------|-----------|
| 課題記号・番号 () | | |
| 課題記号・番号 () | | |
| 課題記号・番号 () | | |
| 課題記号・番号 () | | |
| 課題記号・番号 () | | |
| 課題記号・番号 () | | |
| 伴奏者・共演者 氏名 | | |

2023年度

桐朋学園大学大学院音楽研究科(修士課程) 履歴書

| | | |
|----|-------|--|
| 氏名 | フリガナ | |
| | 漢字等記入 | |

| 楽器略語 | コード | 受付番号 |
|------|-----|------|
| | | ※ |

※受付番号は記入不要

※楽器略語・コードは志願票を参照

学歴(高等学校から最終出身学校まで)

*西暦で記入

| 学校名(学科・専攻) | 入学・卒業(見込)年月 |
|------------|-------------|
| | 年 月 年 月 |
| | 年 月 年 月 |
| | 年 月 年 月 |
| | 年 月 年 月 |
| | 年 月 年 月 |

職歴

*西暦で記入

| 勤務先 | 在職期間 |
|-----|--------------|
| | 年 月 日～ 年 月 日 |
| | 年 月 日～ 年 月 日 |

(次頁に続く)

音楽歴(師事した指導者やコンクール入賞等について記入すること)

2023年度

桐朋学園大学大学院音楽研究科(修士課程) 研究計画書

| | | |
|----|-------|--|
| 氏名 | フリガナ | |
| | 漢字等記入 | |

| 楽器略語 | コード | 受付番号 |
|------|-----|------|
| | | ※ |

※受付番号は記入不要

※楽器略語・コードは志願票を参照

入学後の研究テーマ及び内容について、具体的に記入してください。

<研究テーマ>

<研究目的>

(次頁に続く)

<研究の動機及びこれまでの準備状況>

<研究内容及び研究方法>

| | |
|--|---|
| <p>2023 年度</p> <p>桐朋学園大学</p> <p>大学院音楽研究科(修士課程)</p> <p>入学試験 受験証</p> | |
| 受付番号 | * |
| 楽器略語 | |
| フリガナ 氏名 | |
| <div style="border: 1px solid green; width: 60%; margin: 0 auto; padding: 10px;"> <p>写真貼付 (全面糊付け)</p> </div> | |

※キリトリ

[受付番号の欄(*)について]

記入しないこと

[写真について]

1. 正面、上半身無帽
2. 背景なし
3. 最近3か月以内に撮影のもの
4. タテ 4cm×ヨコ 3cm
5. 写真裏面に氏名を記入し貼付する